

# 一般質問発言通告書

発言順位	9 番
------	-----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 7年 11月 26日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 2 番 沈 久美

質問事項 1	令和7年三嶋大祭りの振り返りと今後について
具体的内容	三嶋大祭りは三嶋大社を中心に、近隣の神社、自治会、観光協会、商工会議所ほか各種団体、そして三島市が一体となってつくり上げてきた誇るべき伝統文化です。例年、50万人を超える来訪者でにぎわい、市内経済にも大きく寄与する本市の「顔」とも言うべき一大イベントであり、その維持と発展のため、毎年熱心にご尽力いただいている関係者の皆さまに、まず敬意を表します。規模が大きく、市民・近隣住民はもとより、交流人口、関係人口と呼ばれる方々、移住を検討中の方々にも関心が高い行事であり、万全の安全対策が求められています。 伝統を守りながらも、次の世代に安心して引き継げる祭りとするために、今一度、本年の様子をふまえ、運営体制・安全対策の総点検として伺います。
1	本年三嶋大祭りの総括 天候・集客数・参加人数・救急搬送事例数等といった客観的データ（昨年比較・推移）、新たな取り組みがあればその内容と成果、市民の声、課題等。及び新聞記事にもなったけが人発生の件について
2	熱中症対策・危機管理 本年実施の具体的な取り組み、企業・民間団体との連携、新規マニュアル作成、日程等
3	最終日の夜、大社境内にて実施された「第2回大盆踊り大会」の成果と展望
質問事項 2	空き家の適正管理と発生予防を進めるための仕組みづくり
具体的内容	空き家問題は、全国的には毎年東京23区の面積に匹敵する空き家が増え続けているとも言われ、放置の影響は地域の暮らしを揺るがす深刻な問題であると認識されています。 空き家の多くは老朽建物ですが、その背景には個人の生活が深く関わっています。合理性でははかれない思いを含んだ個人資産という特質を踏まえた課題解決が必要と考えます。 経済建設委員会では、視察先に空き家対策の先進地・東近江市を選定。議会報告会でも空き家対策を取り上げました。今回は、主にその報告会で実際に寄せられた市民認識・ご意見を生の声としてダイレクトに投げかける形をもって、本市の空き家対策の現状と今後について伺います。
1	実態の把握と所有者意思確認の取り組み (1) 空き家戸数や空き家率等、公表データと市民感覚との差異について (2) 所有者が遠方にある等、連絡先特定困難ケースへの対応、意思確認のプロセス
2	適切に管理されていない空き家への対応（特定／管理不全の区別と対応の違い、認定基準）
3	相談窓口・使いやすい空き家バンク・情報発信体制の整備について (1) 寄せられた相談窓口へのニーズ、および利便性の高い空き家バンクの整備について (2) 市民への情報提供強化の取り組みについて (3) 現行法や地方税法上の「限界」と「所有者意識」について (4) 空き家の放置期間に応じた課税措置や地方税法の不適合など、法改正は必要なのか (5) 合理性でははかりきれない所有者意識への向き合い方に関する見解